

木材需給動向について (全国)

2023年2月
林野庁

全国の木材需給動向について、
林野庁ウェブサイト（下記URL）にて
毎月資料を更新しています。

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/mokusan/ryutsu/kyougikai.html>
（QRコードからもアクセスできます。）



さらに・・・

林産物に関するマンスリーレポート「モクレポ」
木材・木材製品、特用林産に関する最新の統計
データや、林野庁の施策に関するトピックス、セ
ミナー・イベントの情報などを取りまとめ、毎月
中旬に更新しています。

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/kikaku/toukei/monthlyreport.html>
（QRコードからもアクセスできます。）



目次

1 価格の動向

(1) 原木価格（原木市場・共販所）

ア スギ（全国）

イ ヒノキ（全国）

(2) 製品価格

2 工場の原木等の入荷、製品の生産等の動向

(1) 製材（全国）

(2) 合板（全国）

(3) チップ（全国）

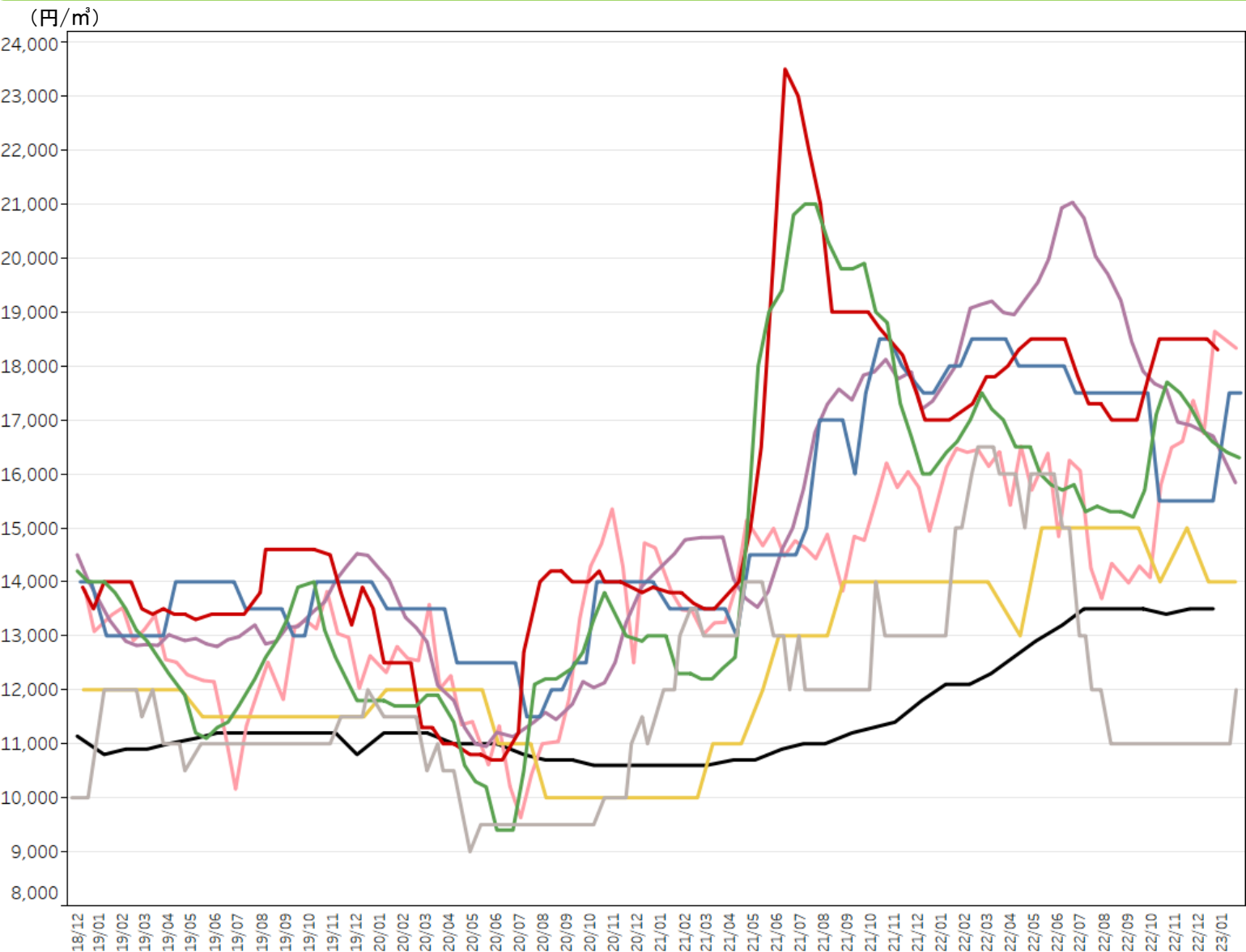
3 住宅着工戸数の動向

4 木材輸出量

1 価格の動向 (1) 原木価格 (原木市場・共販所)

ア スギ (全国) 径24cm程度、長3.65~4.0m (2018年12月~)

- 2021年4月以降、いわゆるウッドショックにより価格が大きく上昇し、その後一部の地域で下落したが、全般的には、2021年3月以前と比較すると高い水準で推移。
- 直近のスギ原木価格は、12,000円~18,330円/㎡となっている。



(単位：円/㎡)

都道府県	2022年直近※	前年同期	前年同期比
北海道	13,500	11,800	114%
秋田県	15,840	17,980	88%
栃木県	18,330	16,470	111%
長野県	14,000	14,000	100%
岡山県	12,000	15,000	80%
高知県	17,500	18,000	97%
熊本県	18,300	17,000	108%
宮崎県	16,400	16,400	104%

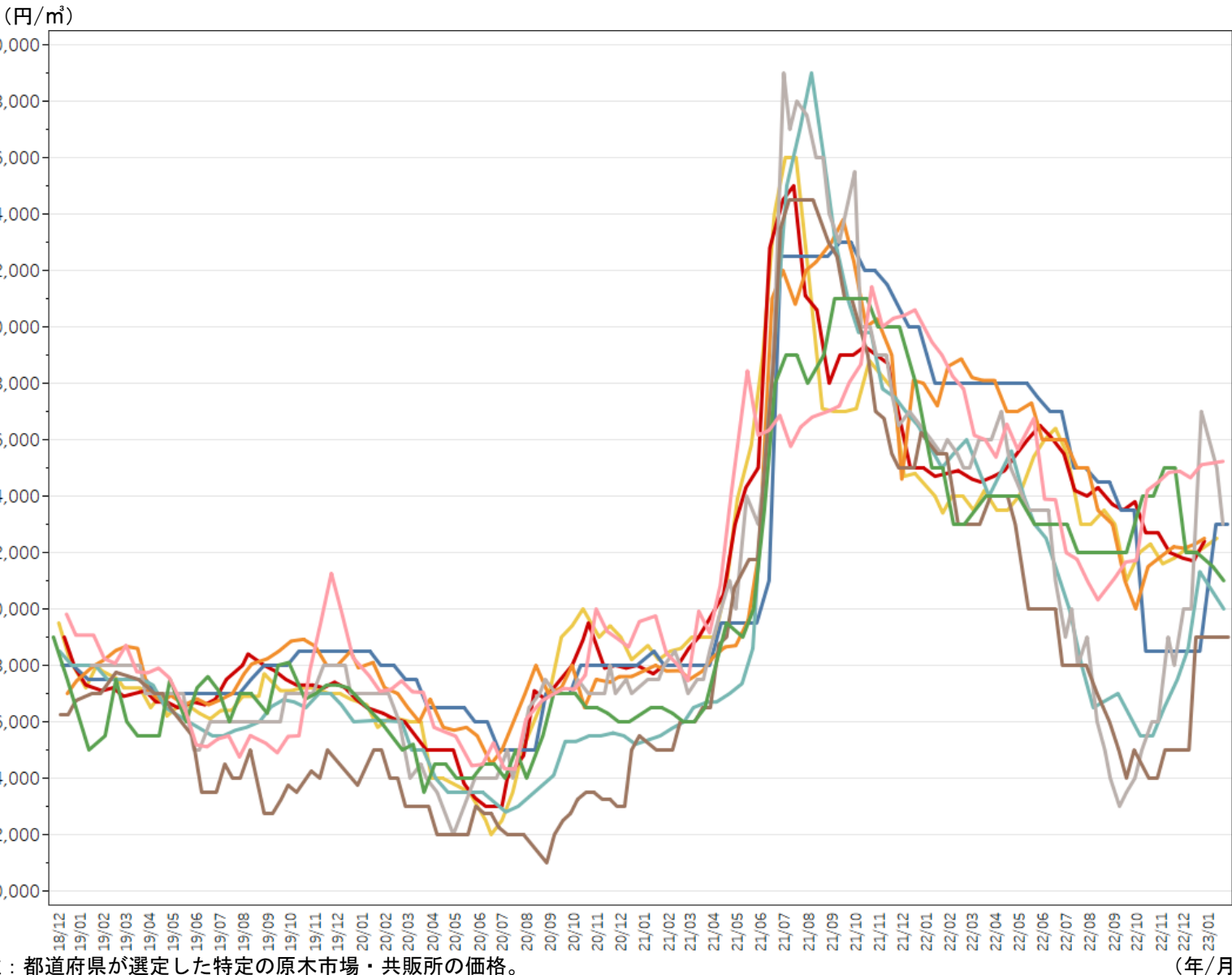
※北海道及び熊本県については12月、秋田県、栃木県、長野県、岡山県、高知県及び宮崎県については1月の値を使用。

注1：北海道はカラマツ（工場着価格）。
注2：都道府県が選定した特定の原木市場・共販所の価格。

資料：林野庁木材産業課調べ

イ ヒノキ（全国） 径24cm程度、長3.65～4.0m（2018年12月～）

- ヒノキにおいてもスギと同様に、2021年4月以降、価格が大きく上昇。その後下落傾向に転じているが、2021年3月以前と比較すると全般的に高い水準で推移。
- 直近のヒノキ原木価格は、19,000円～25,230円/m³となっている。



(単位：円/m³)

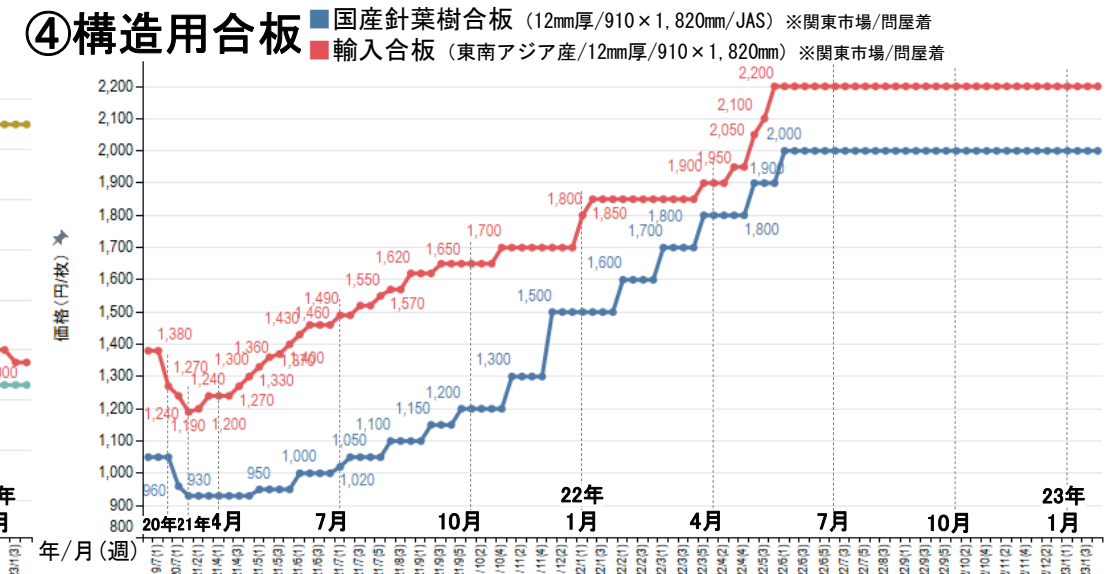
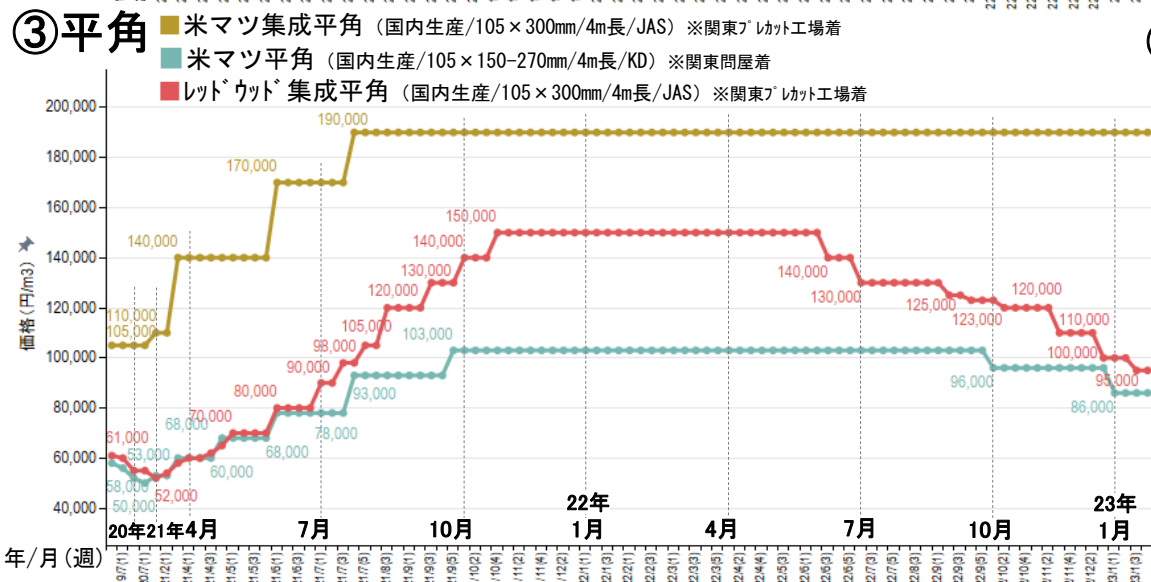
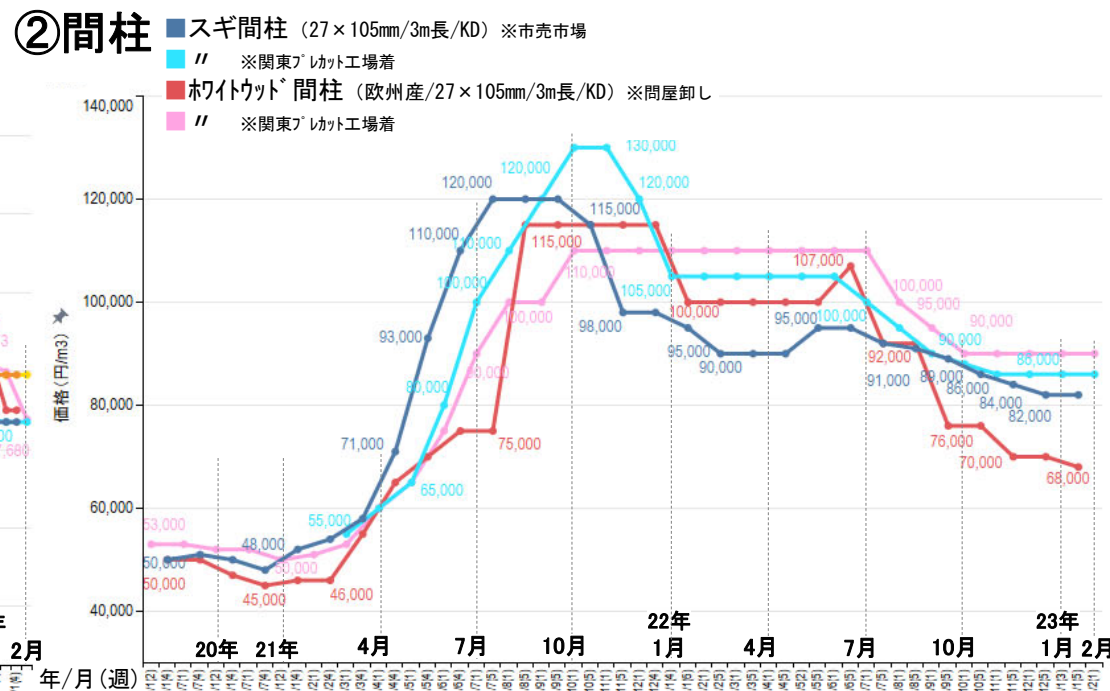
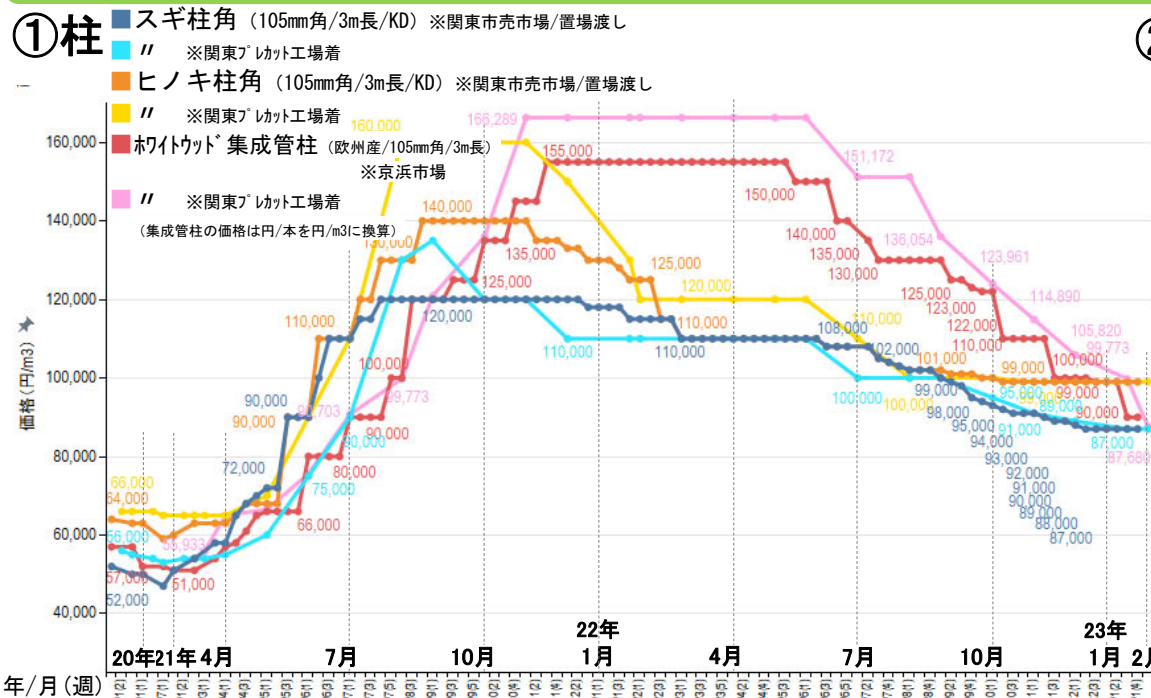
都道府県	2022年直近※	前年同期	前年同期比
栃木県	25,230	29,000	87%
静岡県	21,000	25,000	84%
兵庫県	19,000	25,500	75%
岡山県	23,000	25,500	90%
広島県	20,000	25,000	80%
愛媛県	22,500	28,000	80%
高知県	23,000	28,000	82%
熊本県	22,400	25,000	90%
大分県	22,500	24,000	94%

※愛媛県及び熊本県については12月、栃木県、静岡県、兵庫県、岡山県、広島県、高知県及び大分県については1月の値を使用。

注：都道府県が選定した特定の原木市場・共販所の価格。
 資料：林野庁木材産業課調べ

(2) 製品価格

- 令和3年(2021年)は、世界的な木材需要の高まり等により輸入材製品価格が高騰し、代替需要により国産材製品価格も上昇。令和4年(2022年)に入っても、製材は高値圏で推移、合板は上昇後高止まりで推移。

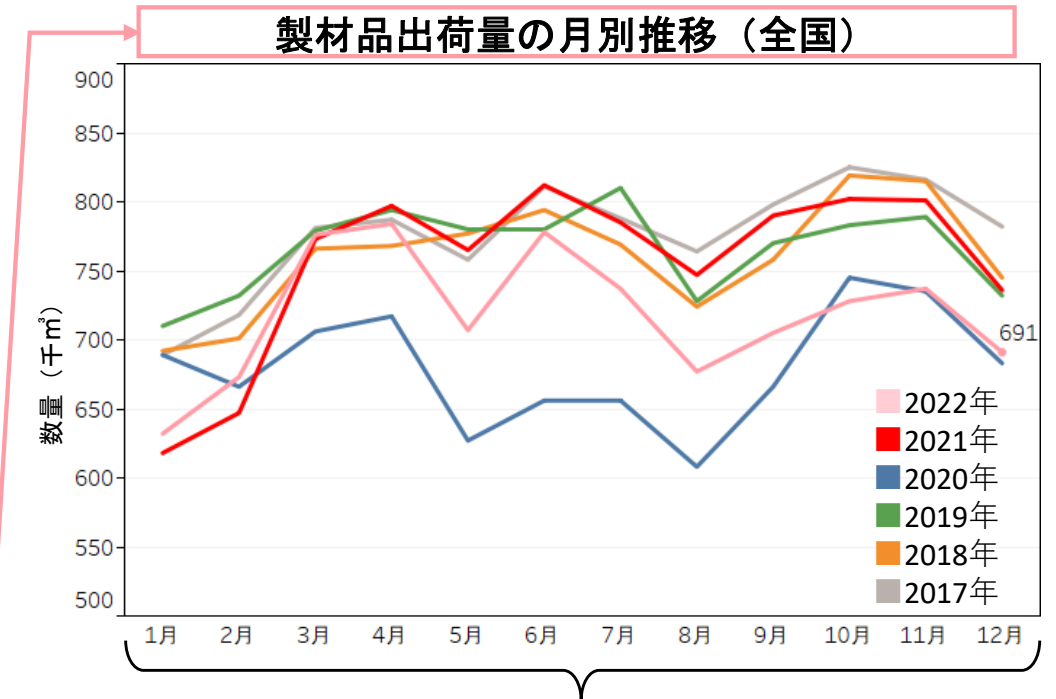
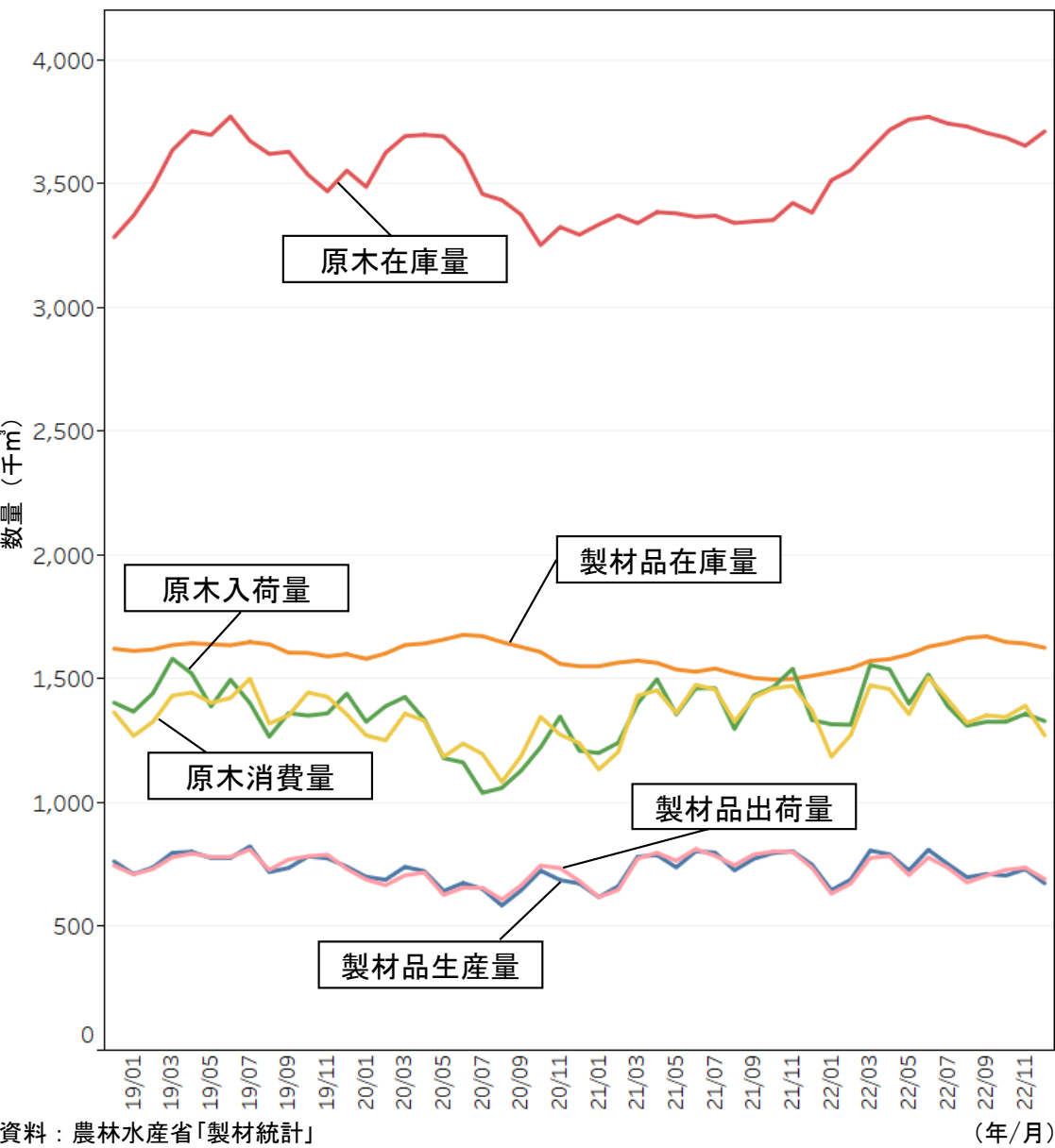


資料：①③④木材建材ウイクリー、①②日刊木材新聞

2 工場の原木等の入荷、製品の生産等の動向

(1) 製材 (全国)

- 2022年1～12月の原木の入荷量は16,677千 m^3 (2019年比98%)。
- 同様に製材品の出荷量は8,625千 m^3 (2019年比94%)。

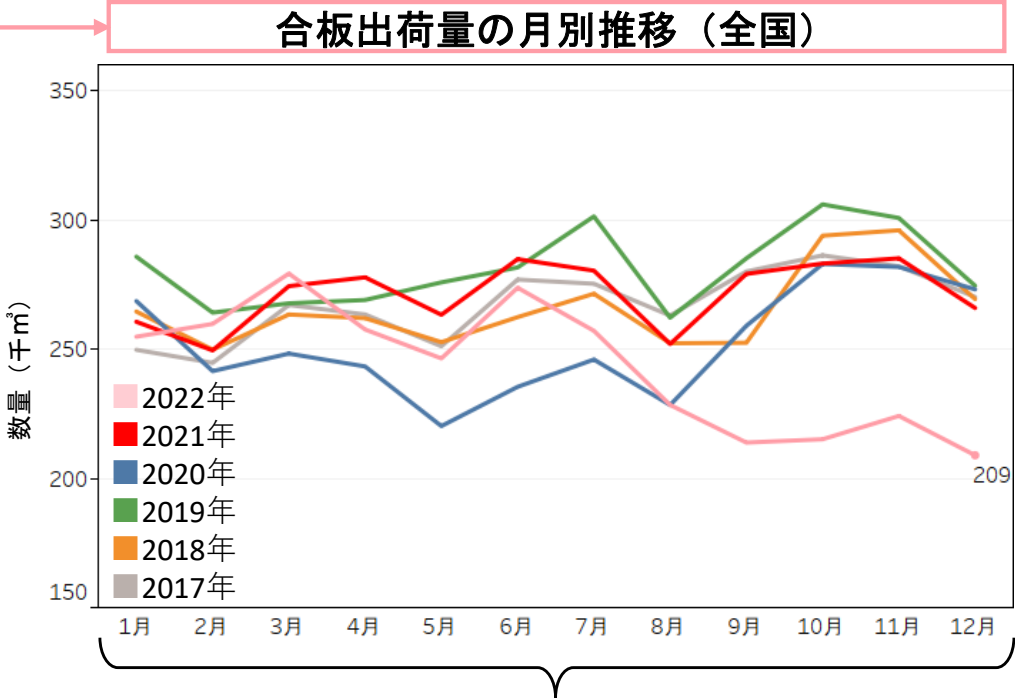
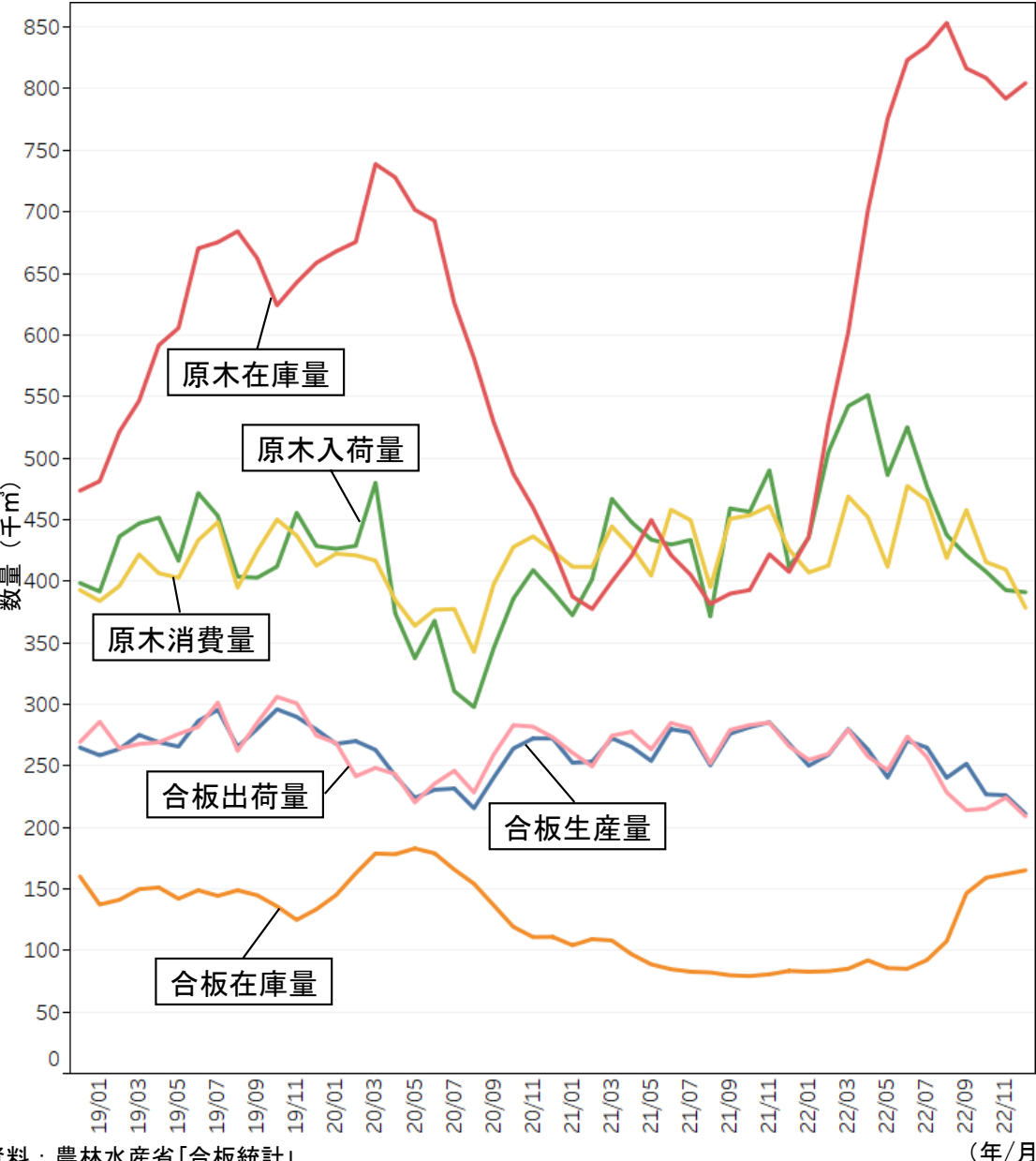


	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
1～12月原木入荷量合計(千 m^3)	16,508	16,679	16,974	14,824	16,685	16,677
2019年との比較*	97%	98%	—	87%	98%	98%
1～12月出荷量合計(千 m^3)	9,317	9,128	9,187	8,154	9,073	8,625
2019年との比較*	101%	99%	—	89%	99%	94%

※コロナ禍前の2019年の数値を100%とした比較

(2) 合板 (全国)

- 2022年 1～12月の原木の入荷量は5,572千m³ (2019年比108%)。
- 同様に合板の出荷量は2,919千m³ (2019年比87%)。

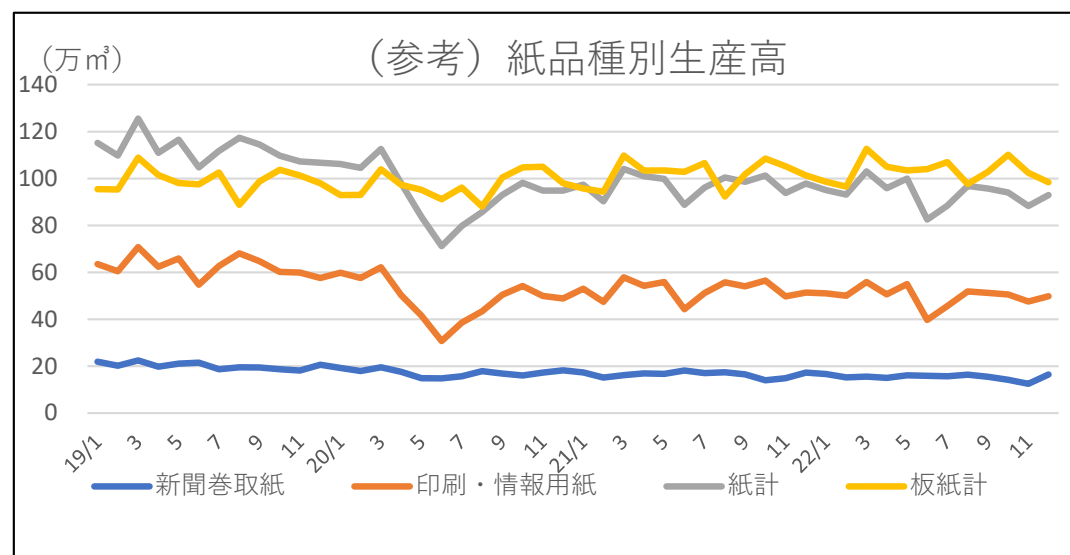
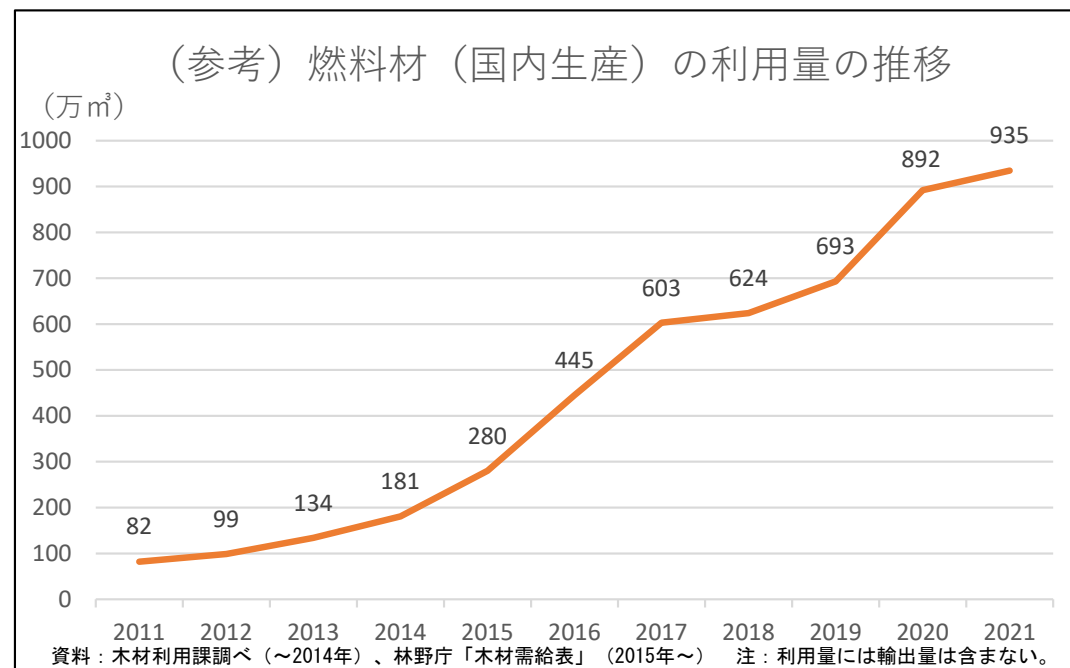
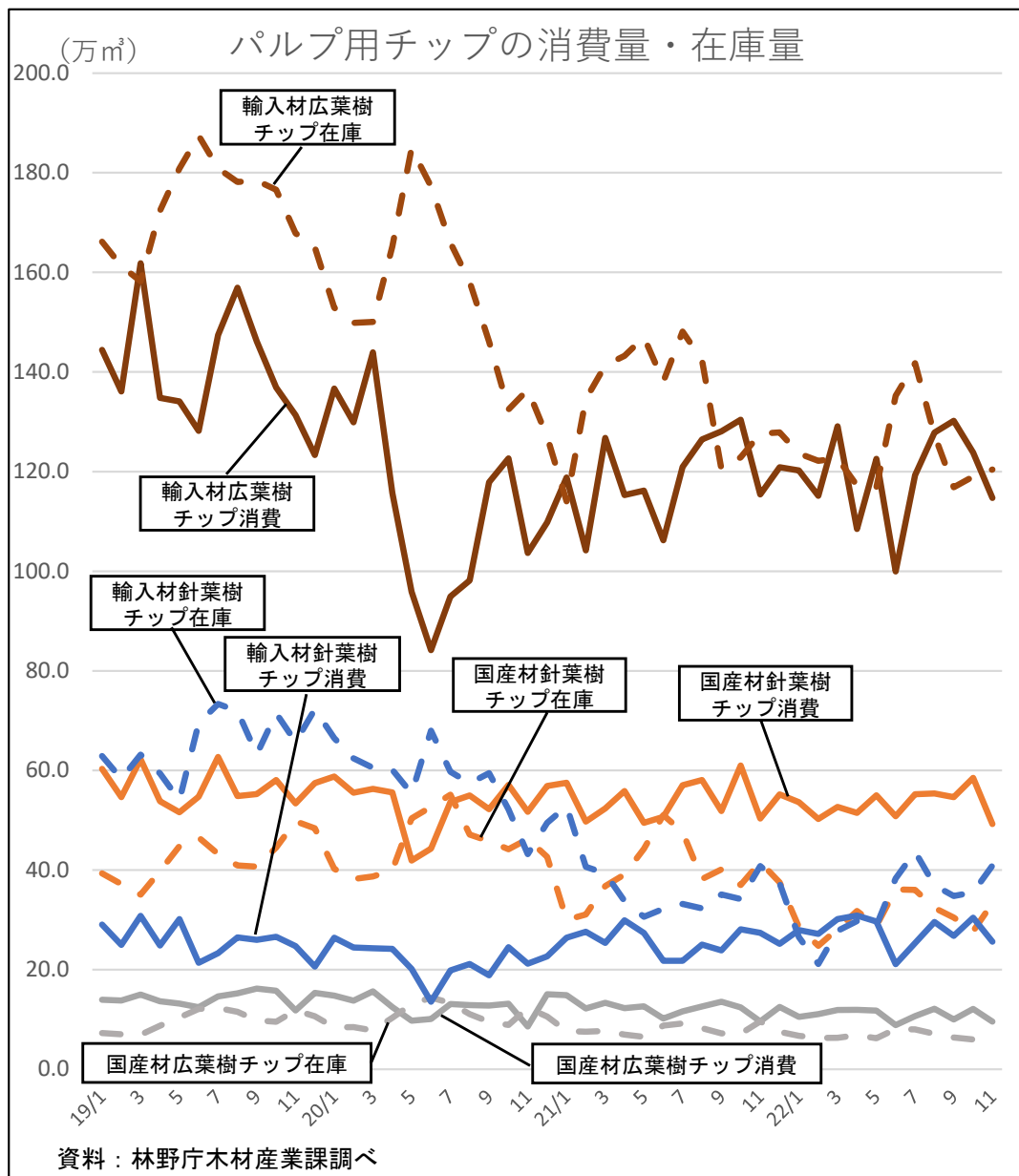


	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
1～12月原木入荷量合計(千m3)	4,587	4,930	5,169	4,554	5,173	5,572
2019年との比較※	89%	95%	—	88%	100%	108%
1～12月出荷量合計(千m3)	3,209	3,190	3,374	3,028	3,256	2,919
2019年との比較※	95%	95%	—	90%	97%	87%

※コロナ禍前の2019年の数値を100%とした比較

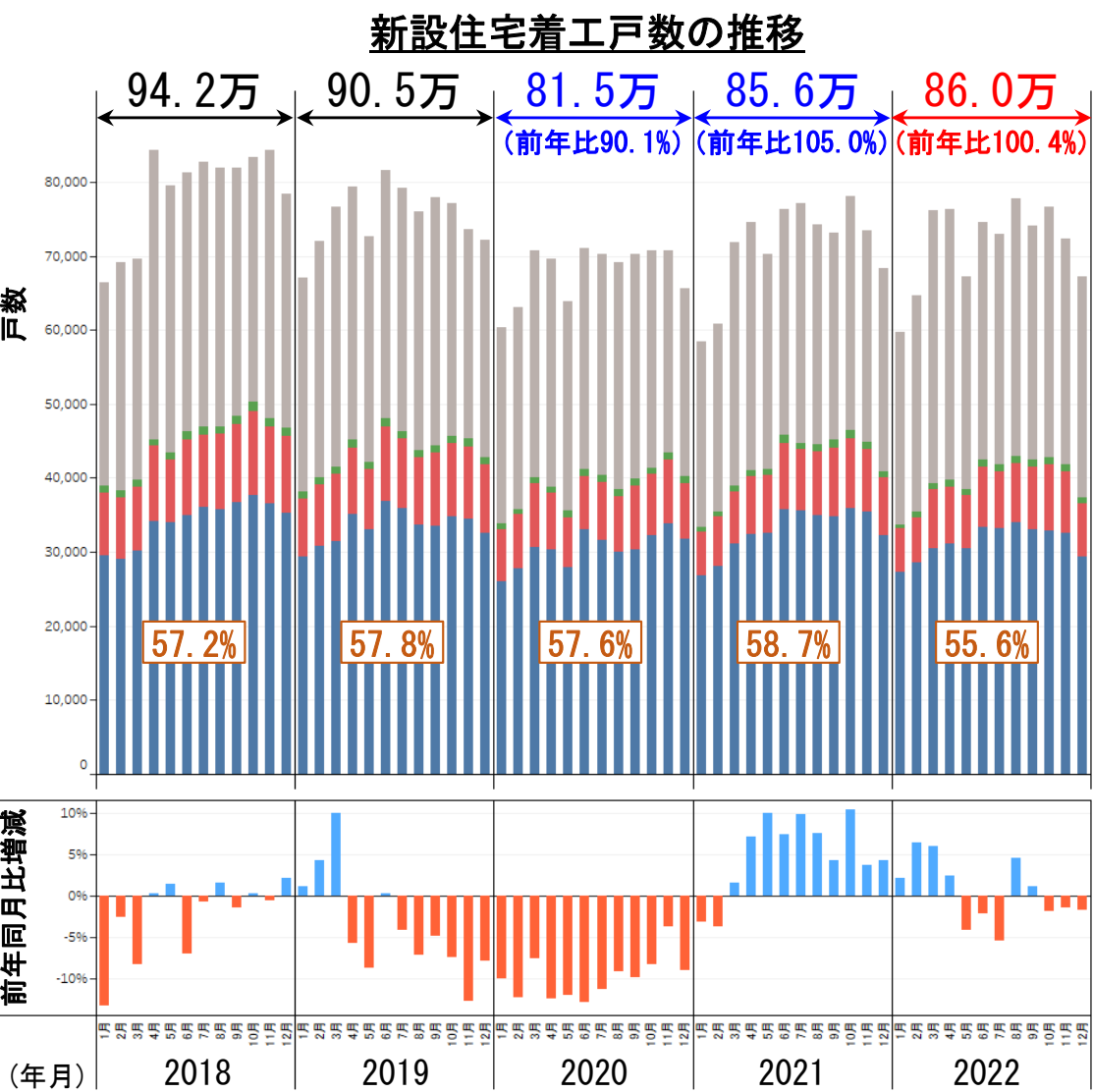
(3) チップ（全国）

- パルプ用チップの消費について、輸入広葉樹チップの消費量は2020年4月から6月まで激減した。その後は回復傾向。国産針葉樹チップの消費量は、2020年5月に大きく減少したが、その後回復した。
- 燃料材（国内生産）の利用量は、発電利用を中心に増加（過去10年間で約11倍）。

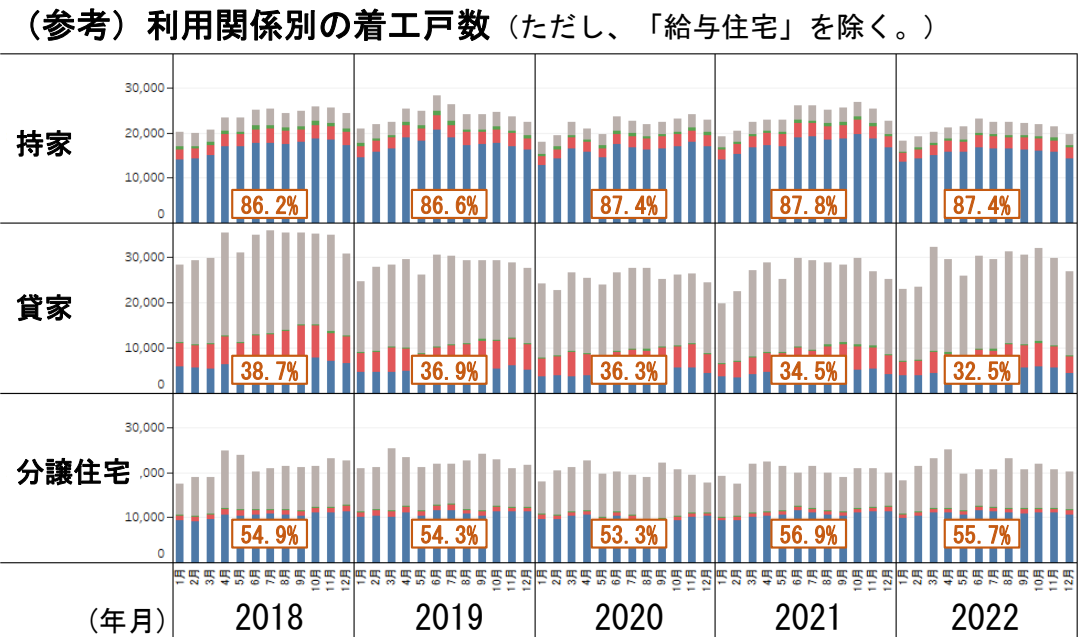


3 住宅着工戸数の動向（2018年1月～2022年12月）

- 2021年の新設住宅着工戸数は、85.6万戸（前年比105.0%）、このうち木造住宅は50.2万戸（同107.0%）となり、2020年からは増加したが、新型コロナウイルス感染症拡大前の2019年の水準は下回った。
- 2022年1～12月の新設住宅着工戸数は、86.0万戸（前年同期比100.4%）、このうち木造住宅は47.8万戸（同95.1%）。



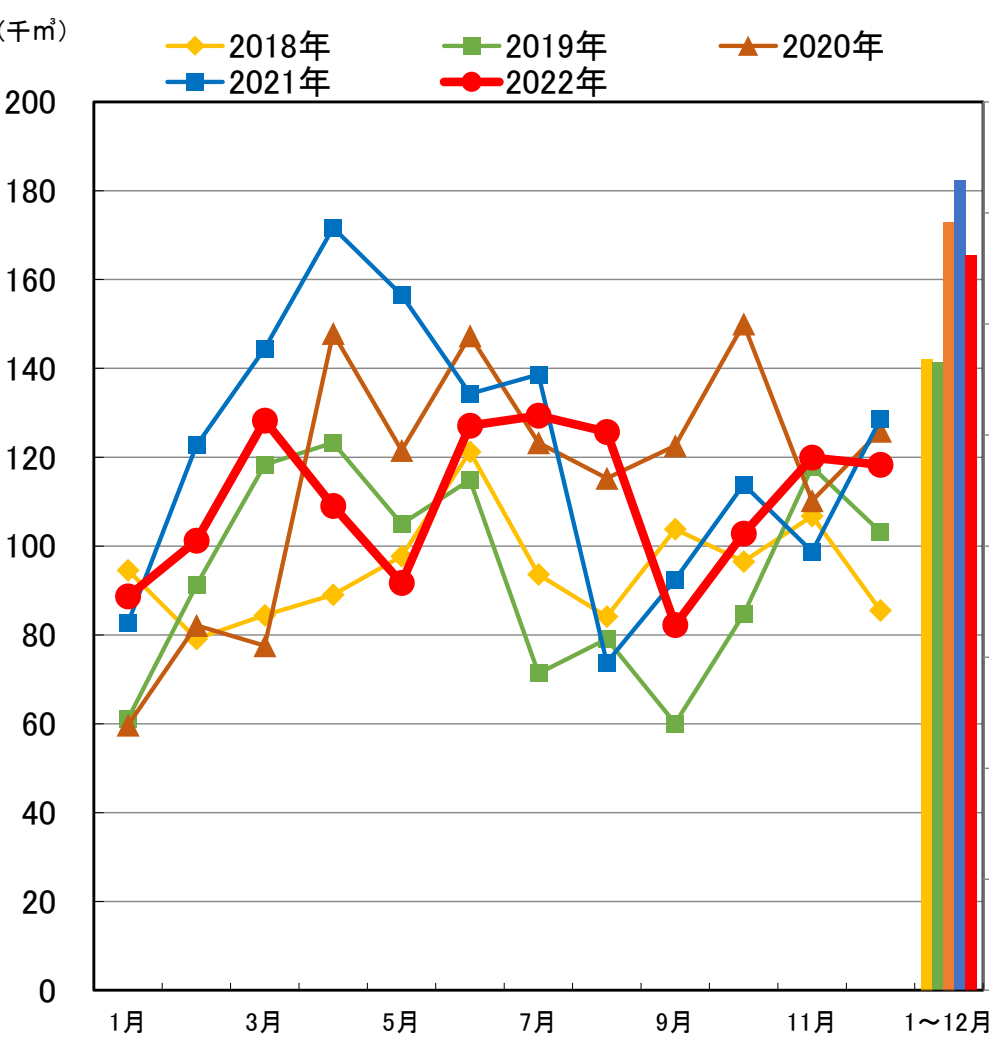
構造別の着工戸数	2022年 1～12月	前年 同期	前年 同期比	前々年 同期	前々年 同期比
合計	859,529	856,484	100.4%	815,340	105.4%
■非木造	381,646	354,154	107.8%	346,045	110.3%
木造	477,883	502,330	95.1%	469,295	101.8%
■木造プレハブ	10,144	10,509	96.5%	10,822	93.7%
■2×4	91,233	96,018	95.0%	93,009	98.1%
■在来軸組	376,506	395,803	95.1%	365,464	103.0%
□木造率	55.6%	58.7%		57.6%	



4 木材輸出量

・ 令和4年12月の輸出量は丸太118千^m（前年同月比92%）、製材12千^m（前年同月比61%）、合板12千^m（前年同月比95%）となった。

○丸太輸出量の推移（月別）



○木材輸出量の状況（累計：主な国別・品目別）

輸出先	単月 12月			累計 1～12月		
	主要品目内訳(千m3) 前年比(%)			主要品目内訳(千m3) 前年比(%)		
	丸太	製材	合板	丸太	製材	合板
中国	98 90%	5 94%	0 47%	1,119 92%	67 118%	6 63%
韓国	11 119%	1 87%	0 2%	116 94%	8 81%	0 44%
台湾	9 85%	1 141%	0 0%	80 85%	15 106%	0 0%
米国	0 —	3 77%	0 —	0 —	39 66%	0 114%
フィリピン	0 —	2 19%	11 100%	0 —	45 76%	123 94%
総計	118 92%	12 61%	12 95%	1,324 91%	178 86%	129 92%

○税関ごとの丸太輸出量

税関名	管轄※	合計(千 ^m) 1～12月	比率 1～12月
函館税関	北海道,青森,岩手,秋田	114.0	8.6%
東京税関	山形,群馬,埼玉,千葉,東京,新潟,山梨	7.8	0.6%
横浜税関	宮城,福島,茨城,栃木,千葉,神奈川	9.0	0.7%
名古屋税関	長野,岐阜,静岡,愛知,三重	21.6	1.6%
神戸税関	兵庫,鳥取,島根,岡山,広島,徳島,香川,愛媛,高知	17.4	1.3%
大阪税関	大阪,京都,和歌山,奈良,滋賀,福井,石川,富山	33.7	2.5%
門司税関	山口,福岡,佐賀,長崎,大分,宮崎	385.4	29.1%
長崎税関	福岡,佐賀,長崎,熊本,鹿児島	735.5	55.5%
沖縄地区税関	沖縄	0.0	0.0%

資料：財務省易統計
※貿易統計の第4403, 4407, 4412の一部類を集計
※四捨五入により、数値が合わないことがある

※木材の集荷範囲とは対応していない